

日本共産党

4月7日川崎市議選

中原区の市会は
あなたの一票を

市古

次郎

いちこじろう

中原育ち41歳。全力行動！

働く世代の一人として、長時間労働、サービス残業なくし、家族とともに人間らしい豊かな生活が出来る社会を実現したい。子育てでも、みんなが希望する保育園に入れ、すべての子どもが心配なく医者にかかれるよう、中学生まで医療費の無料化を実現します。安心安全な武蔵小杉駅を1日も早く早く実現するため、市古てるみ市会議員からバトンタッチし、全力行動で働きます。

中原育ち
41歳

●プロフィール

1977年生まれ、中原区育ち。平間小学校、平間中学校、県立住吉高校卒業。大手自動車会社で自動車整備士、管理職など20年勤務。働きながら中央大学法学部通信教育課程で学ぶ。現在、日本共産党中原区市政・生活相談室長。家族は妻、長男（11歳）長女（8歳）。荻宿在住。

子育て・福祉優先の市政へ

市古次郎

検索



<http://ichiko-jiro.jp/>

証紙

安倍政権のくらし壊しから

いのちと福祉を守る市政へ



市古次郎は 新しい市議会で全力

共産党が12議席に伸びれば、
発言力・提案力・実現力がさらに
パワーアップします。

中学卒業まで子どもの医療費無料に

所得制限・一部負担金なくす(通院)

高すぎる国民健康保険料引き下げ

当面、川崎市として一般会計からの繰り入れで、1世帯年額
1万円の引き下げを。国に1兆円の公費負担をもとめます。

特養ホーム4800人分増設、 介護保険料の減額

雇用を増やし、地域経済活性化へ

中小企業支援予算を140億円に拡充

地震・豪雨対策の推進

臨港道路 1本に980億円など 不要不急の大規模開発ストップ

くらしの財源はあります

市税収入6年連続過去最大

- 2150億円の不要不急の大規模事業を見直し
- 市のためこみ金(減債基金) 1000億円

中学校給食が実現!

- こども文化センターのエアコン設置
- 学校トイレの洋式化全校実施
- 就学援助の入学準備金増額と前倒し支給実現
- 危険なブロック塀の改修予算増額
- 夏休みなどの、わくわくプラザの開所時間を繰り上げ



10人の議員で動かしてきました

認可保育園の増設を推進

- 市の「7000人の児童受入れ枠確保」を8665人に拡大

特養ホーム5カ所増設

- 特定健診無料化へ

障がい者の夕方支援を拡充

- 障がいをもつ高齢者のショートステイ実現
- 障がい者相談支援事業費1カ所あたり人件費48万円、家補助1カ所月5万円増額



中小企業振興条例制定

防災対策の拡充

- 木造住宅耐震化補助の拡充
- 耐震シェルター、一部屋耐震に補助
- 救急隊の増隊
- 消防ポンプ車購入実現



駅・交通の改善

- 武蔵小杉駅南武線ホーム拡幅
- JR横須線武蔵小杉駅改札口の増設、エレベーター設置
- 田園都市線溝の口駅、京急川崎駅にホームドア設置
- JR中野島駅に臨時改札口設置。橋上駅舎化へ
- JR津田山駅、久地駅、稲田堤駅の橋上駅舎化へ

2150億円ものムダな大規模事業を 厳しくチェック

- 川崎港湾計画 約1310億円
- 羽田連絡道路建設 約300億円
- 東扇島堀込部埋立事業 約240億円
- 川崎アプローチ線事業 約300億円 など

市民の願いに対する各党の態度は

2015年以降の定例市議会から抜粋(賛成○ 反対●)

| 川崎市会で市への請願・陳情、国への意見書への態度 | 自民 | 公明 | 民進 | 共産 |
|--|----|----|----|----|
| 安心して子どもを産み子育てしやすい街づくりを求める陳情(2016年8月) | ● | ● | ● | ○ |
| 小児医療助成制度に「一部負担金」を導入しないことを求める請願(2016年10月) | ● | ● | ● | ○ |
| 介護保険料の引き上げを中止し、払える保険料にすることを求める陳情(2018年3月) | ● | ● | ● | ○ |
| 消費税の増税中止を求める意見書(2018年12月) | ● | ● | ● | ○ |
| 「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情(2019年1月) | ● | ● | ● | ○ |

※民進みらいの会派名は、旧民主みらい、現在はみらい

“川崎から”安倍政権に審判下し、新しい政治を

消費税10%増税の中止を

9条改憲NO! 戦争する国づくり許さない

原発ゼロの日本を

日本共産党の市古次郎候補へ一票をお寄せ下さい